

国土交通データプラットフォームの利活用促進に向けた連携公募の成果（2025年7月時点）

連携実証調査の参加27件のうち、公開環境の整ったデータ提供 5 件の連携を開始し、データ利用 6 件について活用事例を公開します。

データ提供：5 件 国土交通データプラットフォームを介して参加主体が保有するデータを提供

組織名	関連するSIP課題	提供データ（カタログ・データセット）		備考
新和設計株式会社、株式会社新和調査設計	—	重要文化財点群データ	重要文化財	
株式会社パスコ	—	災害緊急撮影（斜め写真）	令和6年9月21日能登地方大雨災害（斜め写真）	
大日本ダイヤコンサルタント株式会社 インフラ技術研究所	—	都市QOL	都市QOL	2025年7月下旬 公開予定
東京都立大学都市環境科学研究科	SIPスマートインフラマネジメントシステムの構築 サブ課題e-1：魅力的な国土・都市・地域づくりを 評価するグリーンインフラに関する省庁連携基盤	戦略的イノベーション創造 プログラム（SIP）第3期	グリーンインフラ導入可能性 の類型化	2025年7月下旬 公開予定
広島県	—	インフラマネジメント基盤 （DoboX）	カメラ情報	

データ利用：6 件 国土交通データプラットフォームよりデータを利用し、新たなサービスの創出

組織名	関連するSIP課題	利活用アプリ・事例	備考
大日本ダイヤコンサルタント株式会社 インフラ技術研究所	—	DN-RAMS～道路整備優先度の総合評価サービス～	
広島県	—	インフラマネジメント基盤（DoboX）	
東京科学大学環境・社会理工学院、北海 道大学大学院工学研究院	SIPスマートインフラマネジメントシステムの構築 サブ課題D：サイバー・フィジカル空間を融合する インフラデータベースの共通基盤の構築と活用	空間経済分析の実践基盤の確立	
株式会社ニュージェック	—	水水DB水文データ取得ツール	
パシフィックコンサルタンツ株式会社	—	Visualizer ～あなたのまちの橋の声、聴いてみませんか～	
株式会社RYODEN、株式会社ヴィッツ	—	WARXSS®	

（参考）国土交通データプラットフォームの利活用促進に向けた連携公募

- 国土交通省とSIPの連携により、国土交通データプラットフォームの更なる利活用促進に向けて、国土交通データプラットフォームを介して参加主体が保有するデータを提供するタイプA（データ提供者）と、国土交通データプラットフォームよりデータを利用し新たなサービスの創出を目指すタイプB（データ利用者）の2つの公募タイプの募集を実施し、27件の参加申請があった。
- 2024年12月よりエコシステム社会実験を開始した。

目的

- 国土交通省が保有するデータ・システムに限らず、様々な主体が参画し、多様なデータ・システムとの円滑な連携拡充を目的とし、相互運用性や効率的に連携する仕組みを確立するため、連携実証調査を実施する。
- 分野・組織のリポジトリやデータベースにおけるデータと連携・接続し、国土交通DPF上で統合的・横断的なメタデータ検索・可視化・データ取得の実現を目指す。

実施主体

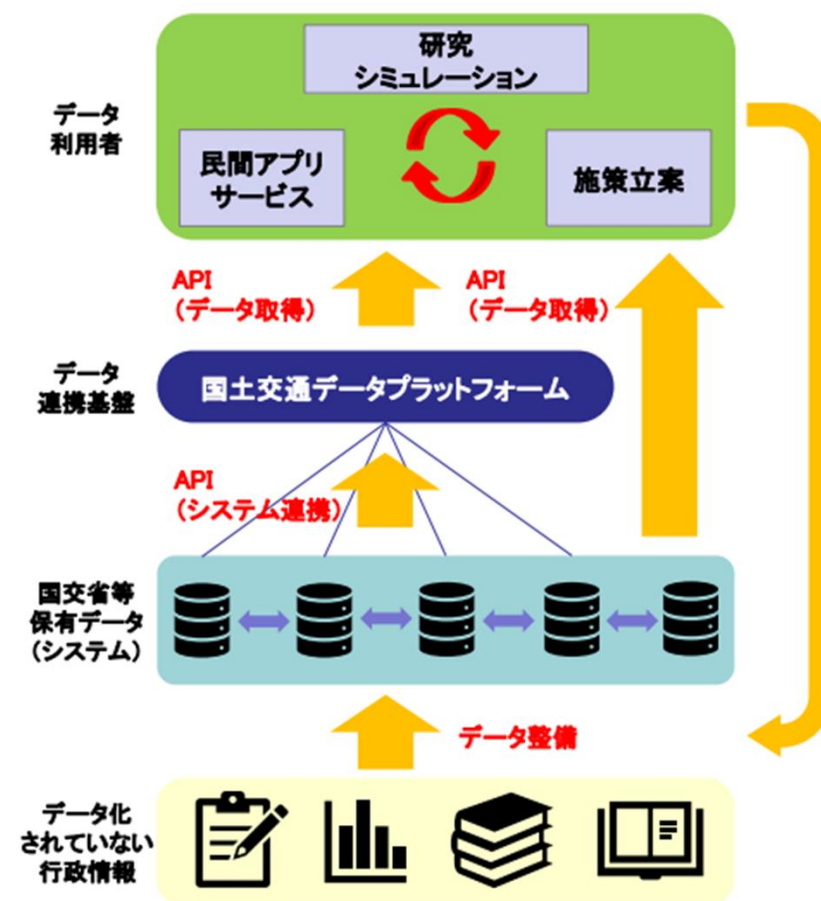
- 国土交通省大臣官房 参事官（イノベーション）グループ
- 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期課題「スマートインフラマネジメントシステムの構築」
サブ課題：D：サイバー・フィジカル空間を融合するインフラデータベースの共通基盤の構築と活用（研究開発責任者：東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授 本田利器）
- 公募参加者

連携実証調査への参加者を公募

- 国土交通省SIPの連携により、2024年9月、国土交通DPFの利活用促進に向けたエコシステム社会実験の連携実証調査への参加者を募集した。
 - タイプA（データ提供者）：国土交通DPFを介して参加主体が保有するデータを提供する
 - タイプB（データ利用者）：国土交通DPFよりデータを利用し新たなサービスの創出を目指す

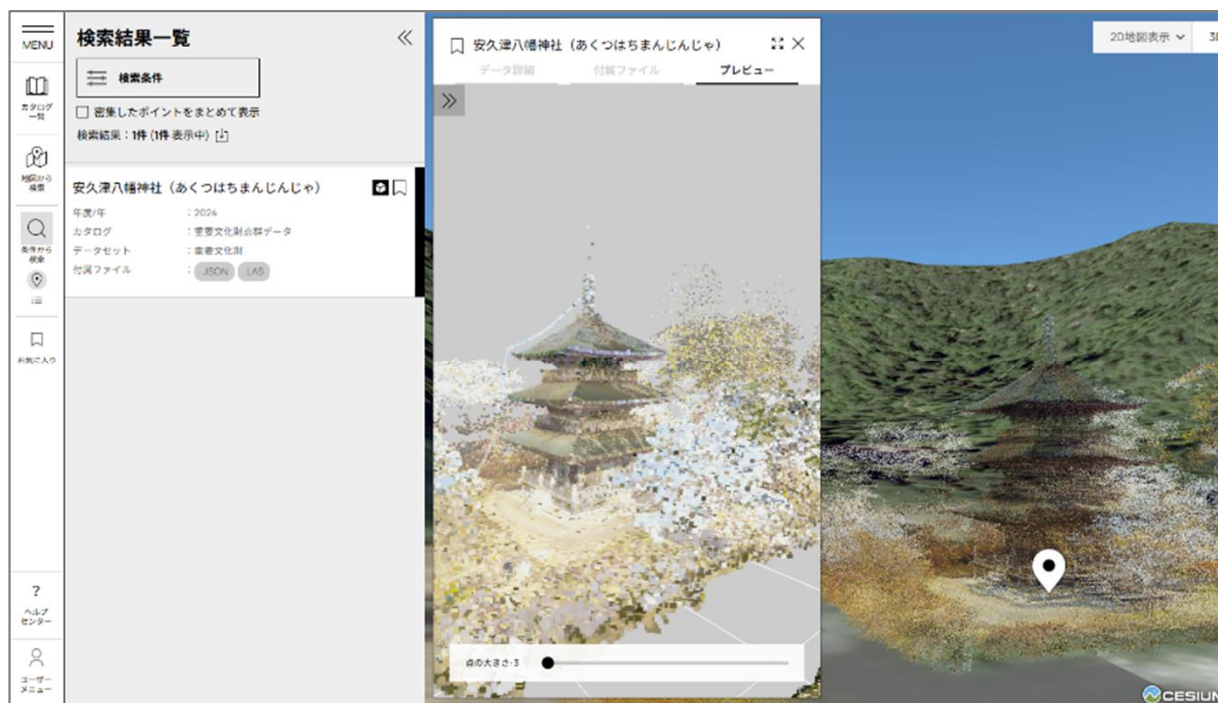
連携実証調査の公募結果

- 計27件の参加申請
 - ※1参加主体がタイプA及びBに取組むケースを含む
 - タイプA（データ提供者）：13件
 - タイプB（データ利用者）：19件



データ提供：重要文化財点群データ（新和設計株式会社、株式会社新和調査設計）

- 重要文化財である安久津八幡神社をレーザスキャンで計測し、点群データを掲載。（協力：安久津八幡神社（山形県東置賜郡高畠町））
- 高密度かつ高精度に重要文化財を点群化。彫刻や木組みなどの微細な形状も立体的に保存でき、修復の基準資料や災害時のバックアップとして活用可能。さらに、データ公開により、保存と利活用（3DモデルやVRによるバーチャル）の両立を可能とした。



カタログ	重要文化財点群データ		
データセット	重要文化財		
検索・閲覧	可能	ダウンロード	可能
データ提供者	新和設計株式会社、新和調査設計株式会社		

地上レーザ測量（TLS）によって、重要文化財を非接触かつ高精度に三次元計測。彫刻や木組みなど微細な形状も忠実に点群化し、修復設計・劣化モニタリング・災害時のバックアップとして活用可能。さらに、3DモデルやVRへの展開により、保存と利活用の両立を実現。管理者との連携による信頼性の高い取り組みとして効果も大きい。

詳細な大容量データの公開で新たな利活用を促進。デジタル保存で修復にも活用可能。



計測状況



定期的な修復作業



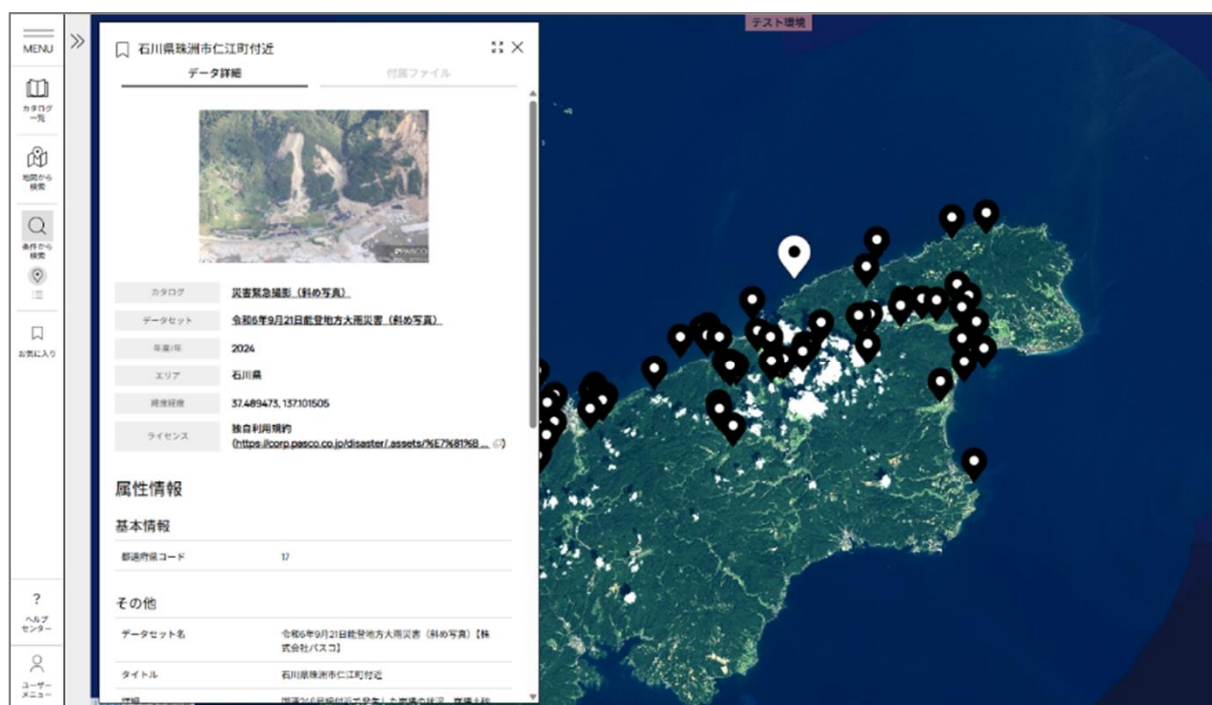
点群データ



画像

データ提供：災害緊急撮影（斜め写真）（株式会社パスコ）

- ・災害発生直後から航空機で緊急撮影した、災害対応等に活用可能な河川氾濫や土砂災害等の斜め写真。
- ・「リアルタイム災害情報提供システム」に登録された斜め写真を、「G空間情報センター」を介して、自動的に追加更新される仕組みを構築した。



カタログ 災害緊急撮影（斜め写真）

データセット 令和6年9月21日能登地方大雨災害（斜め写真）

検索・閲覧 可能 ダウンロード 可能

データ提供者 株式会社パスコ

参考URL

- ・リアルタイム災害情報提供システム（運営：AIGID）
<https://front.geospatial.jp/rtds/>
- ・G空間情報センター（運営：AIGID）：<https://front.geospatial.jp/>



災害時の速やかな情報提供・データ活用を目指し、システム間連携による自動更新

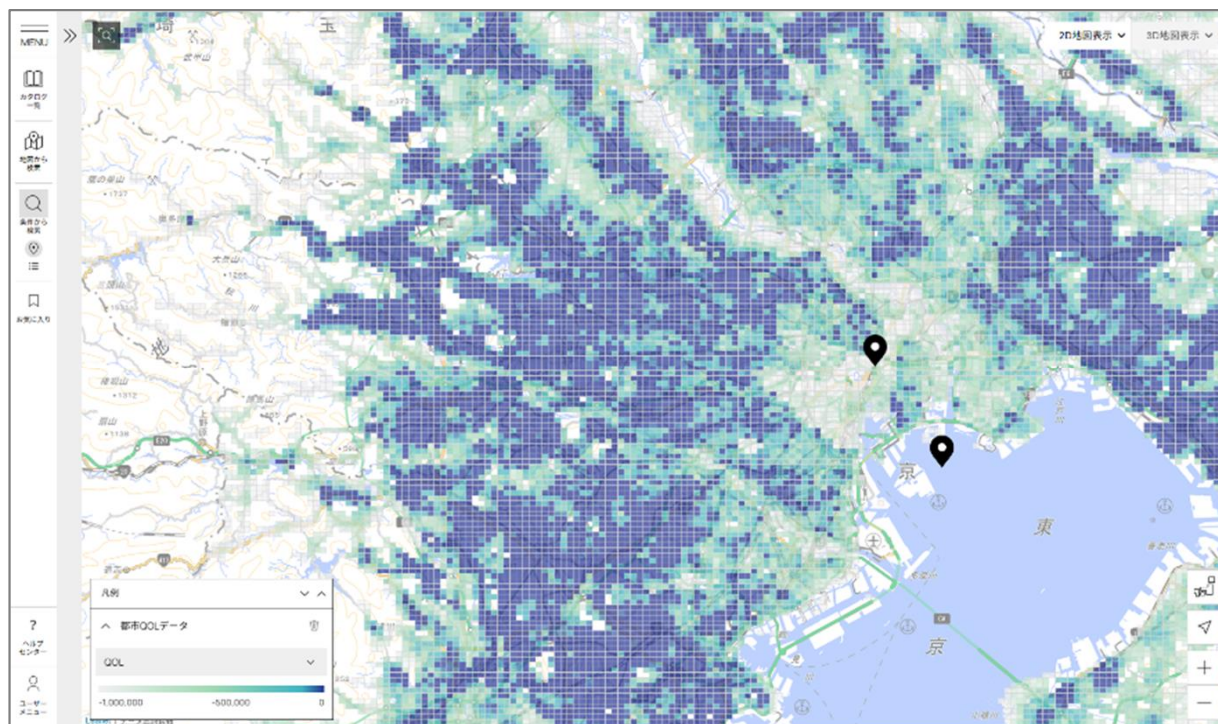


斜め写真の例

Copyright © MLIT Japan. All rights reserved.

データ提供：都市QOL（大日本ダイヤコンサルタント株式会社インフラ技術研究所）

- 個人ごとの価値観を考慮した都市の「住みやすさ」を生活の質（Quality of Life）の観点から総合的に評価した都市QOLデータ
- 都市計画や都市政策における現在の状況を分析、シミュレーション等により将来変化や政策効果の検証、性・年代等による各地域の住みやすさの違い等を分析することも可能



カタログ 都市QOL

データセット 都市QOL

検索・閲覧 可能

ダウンロード 可能

データ提供者 大日本ダイヤコンサルタント株式会社 インフラ技術研究所

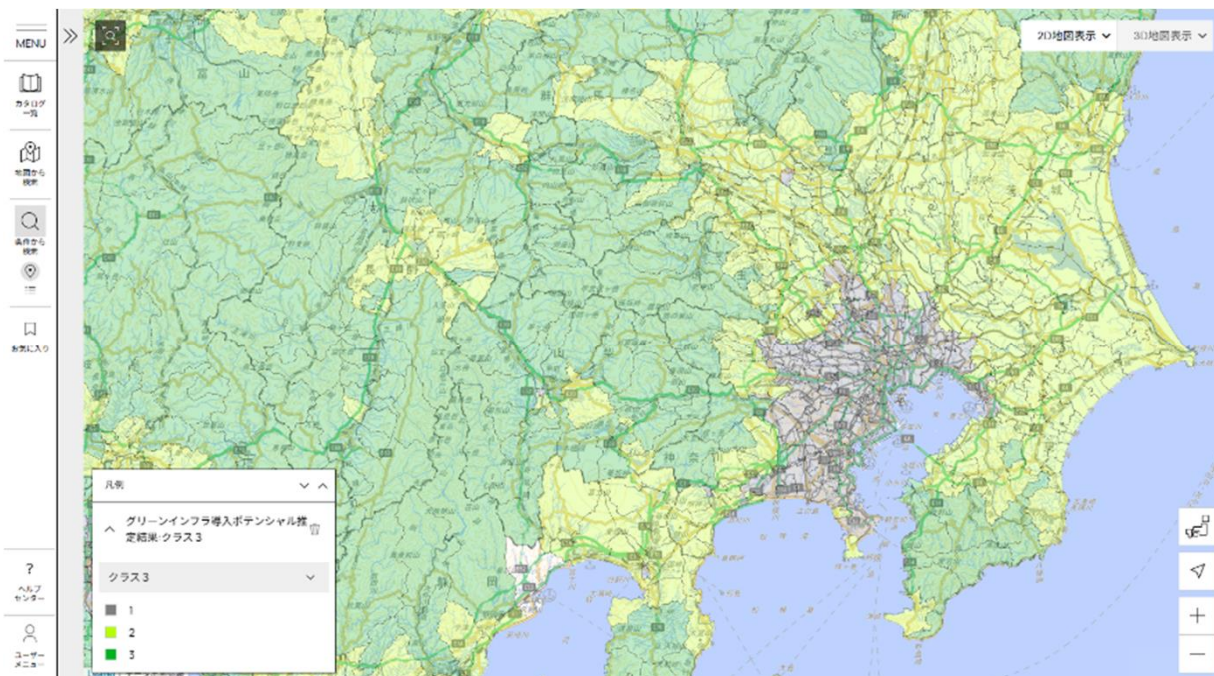
- 対象年次：2020年
- 対象地域：日本国内の5大都市圏（東京都市圏、近畿都市圏、中京都市圏、福岡都市圏、札幌都市圏）
- 解像度：4次メッシュ（標準地域メッシュの500mメッシュ）
- 対象属性：都市圏住民平均及び性（2区分）年代（5区分）の組み合わせごと
- 公開対象データ：QOL合計値（全国平均との差分、家賃を含む／含まない）
- ライセンス：CC BY-NC-ND 4.0（表示・非営利・改変禁止）

- 都市QOLは、林良嗣氏（現：東海学園大学 卓越教授）監修のもと、大日本ダイヤコンサルタント株式会社が開発した、個人ごとの価値観を考慮した都市の「住みやすさ」を生活の質（Quality of Life: QOL）の観点から総合的に評価したデータであり、日本国内各都市の住みやすさとその特徴を、高解像度で可視化、分析することが出来るデータベース
- 都市計画や都市政策における現在の状況を分析することが出来るほか、シミュレーション等により将来変化や政策効果の検証が可能な評価手法となっている

参考文献：林良嗣, 森田紘圭, 竹下博之, 加知範康, 加藤博和（編）：交通・都市計画のQOL主流化－経済成長から個人の幸福－, 明石書店, p.396, 2021.

データ提供：グリーンインフラ導入可能性の類型化（SIPスマートインフラ・サブ課題e-1）

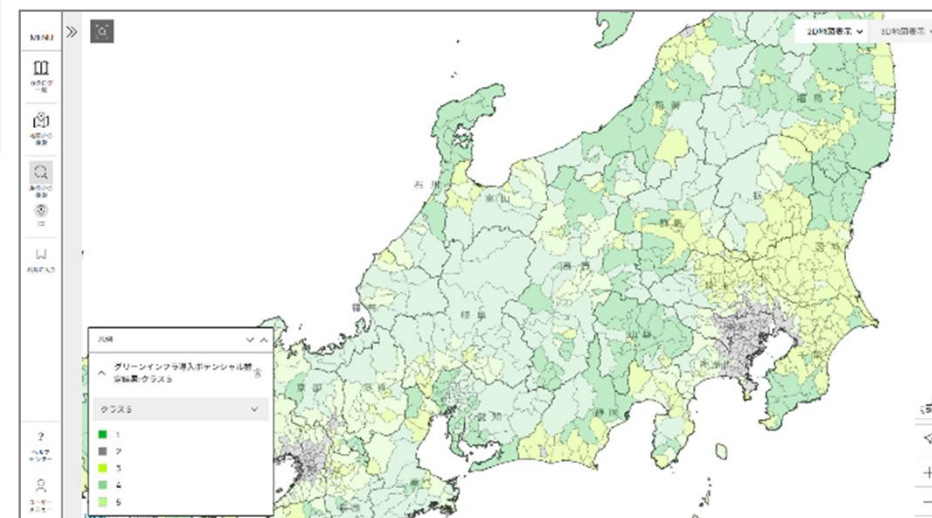
- SIPインフラのサブ課題e-1「魅力的な国土・都市・地域づくりを評価するグリーンインフラに関する省庁連携基盤」の取組みの1つとして、全国の基礎自治体を対象に、土地利用基本計画上の土地区分比率から、導入しやすいグリーンインフラ（GI）を3タイプ・5タイプに類型化。地域の特性に合わせてGIの推進を検討する一助となる。



- 国土利用計画法に基づく土地利用基本計画を利用し、計画上の土地利用から見た立地条件を類型化することで、導入しやすいグリーンインフラ（GI）タイプを類型化
- 土地区分比率をもとに3タイプ（A1～A3）・5タイプ（B1～B5）へ分類
- 各類型に応じたモデル施策の提示や、自治体間協調枠組み構築への基盤資料として活用可能

カタログ	戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期		
データセット	グリーンインフラ導入可能性の類型化		
検索・閲覧	可能	ダウンロード	可能
データ提供者	東京都立大学都市環境科学研究科		

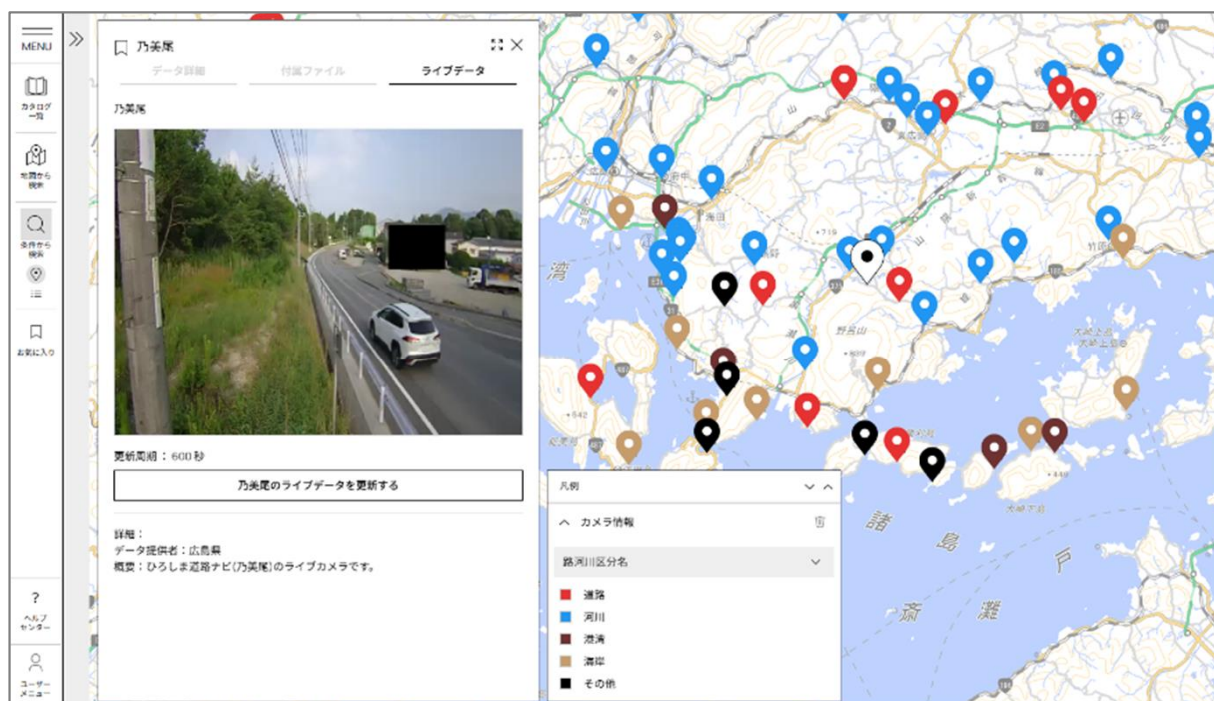
※7月下旬公開予定です。
※本成果は戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期課題「スマートインフラマネジメントシステムの構築」の一環で実施したものです。



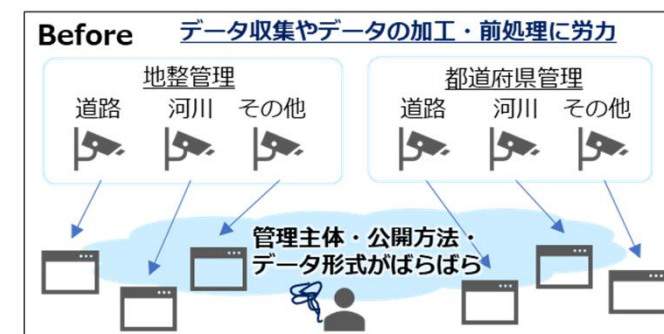
5タイプ（B1～B5）分類

データ提供：カメラ情報（広島県）

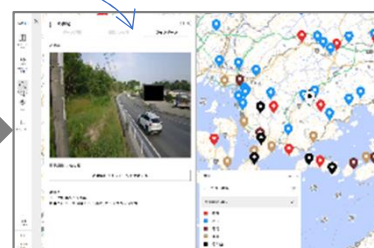
- 広島県が運用する「インフラマネジメント基盤（DoboX）」と連携し、県内の道路や河川に設置されているCCTVカメラの情報を掲載。ライブ配信されるカメラ画像のプレビューが可能となった。
- 組織・分野横断的なデータ利活用促進するため、設備管理者毎に異なるカメラ情報についてデータ項目の共通化を行った。



カタログ	インフラマネジメント基盤（DoboX）		
データセット	カメラ情報		
検索・閲覧	可能	ダウンロード	可能
データ提供者	広島県 土木建築局 建設DX担当		

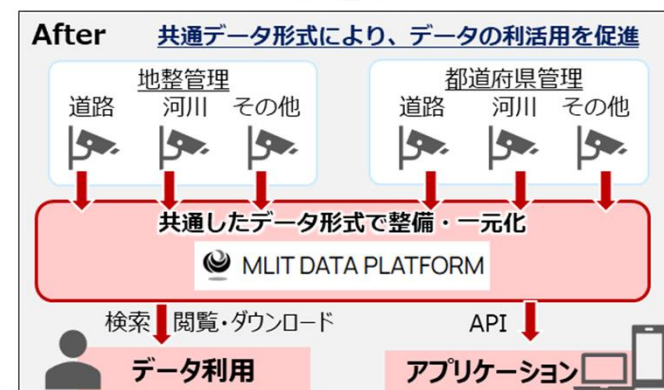


ライブ配信画像を参照

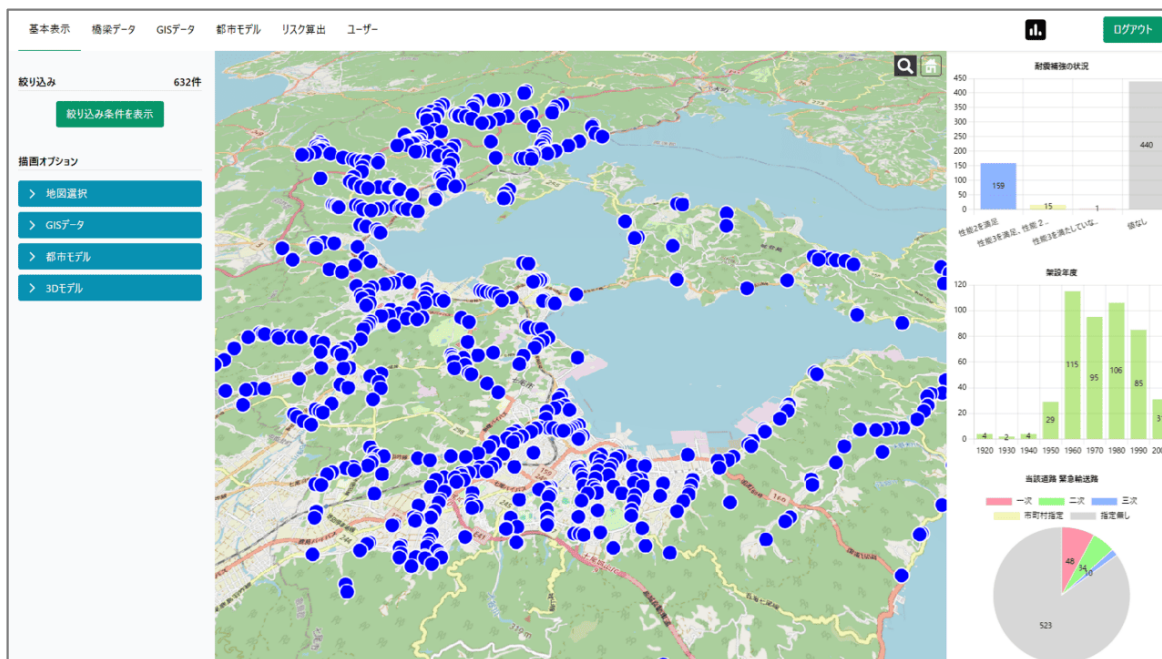


ひろしま道路ナビ

国土交通DPF



- DN-RAMS～道路整備優先度の総合評価サービス～は、Webブラウザ上において簡単な操作のみで、橋梁の位置情報・諸元の可視化や地震被害リスクの算出、3Dデータや災害エリアとの重畳によって橋梁被災リスクを把握できるアプリ。公共データをAPI連携可能とする3Dデジタルプラットフォームを構築し、被災時にも道路ネットワークを有効に機能させるための取り組み。

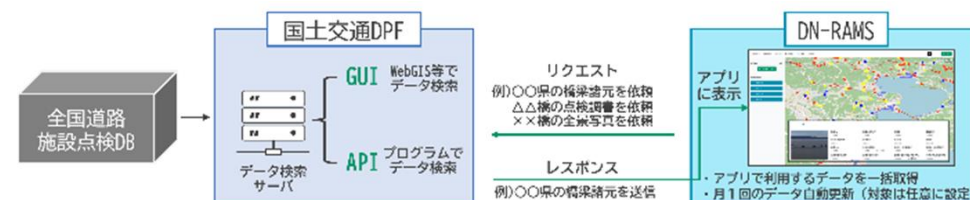


参考URL	https://www.dd-con.co.jp/
-------	---

活用しているデータセット

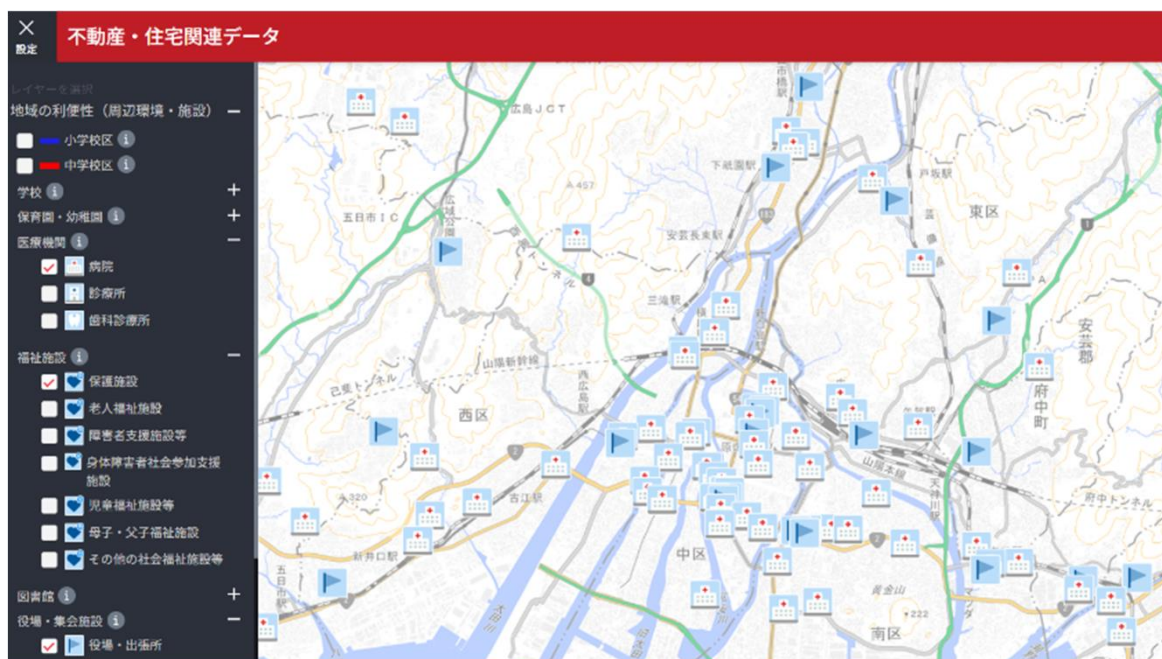
カタログ	データセット
PLATEAU	3D都市モデル
国土数値情報	洪水浸水想定区域データ
全国道路施設点検データベース	3D都市モデル
電子納品保管管理システム	3次元点群データ, BIM/CIM構造物モデル

本アプリのAPI連携ページにて、道路管理者を指定（プルダウン選択）することで、全国道路施設点検データベースに登録されている全管理橋梁の諸元・点検調書・橋梁の全景写真を一括でアプリに登録が可能。



データ活用：インフラマネジメント基盤（DoboX）（広島県）

- DoboXは、広島県内の公共土木施設等に関するあらゆる情報を一元化・オープンデータ化し、外部システムとのデータ連携を可能とするシステム基盤。
- 国土数値情報のデータを、四半期に一度API連携により取得し、可視化コンテンツ「不動産・住宅関連データ」に掲載。



サービス名 インフラマネジメント基盤（DoboX）

提供・開発者 広島県 土木建築局 建設DX担当

参考URL <https://hiroshima-dobox.jp/>

活用しているデータセット

カタログ	データセット
国土数値情報	医療機関, 福祉施設, 市区町村役場及び公的集会施設等

国土数値情報（医療機関や福祉施設、市区町村役場及び公的集会施設等）のデータをインフラマネジメント基盤（DoboX）の可視化コンテンツ「不動産・住宅関連データ」で公開。データ取得は、四半期に一度API連携を実施。

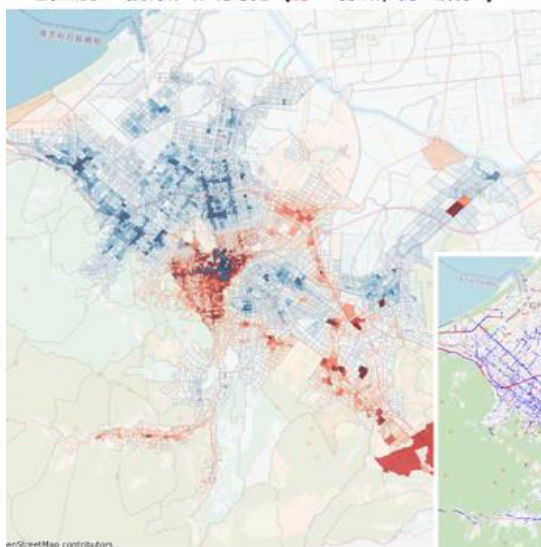


データ活用：空間経済分析の実践基盤の確立（SIPスマートインフラ・サブ課題D）

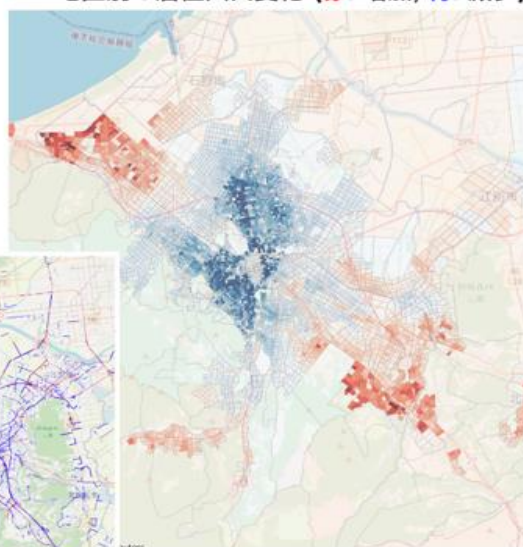
- SIPインフラのサブ課題D「サイバー・フィジカル空間を融合するインフラデータベースの共通基盤の構築と活用」の取組みの1つとして、空間経済分析の実践に向けた基盤づくりを目的として、データの整備・前処理を効率化するため、国土交通データプラットフォームを活用し、分析に必要なデータの取得・加工・統合を自動化・半自動化を検討・試行した。

交通改善の影響評価：札幌都市圏の分析例

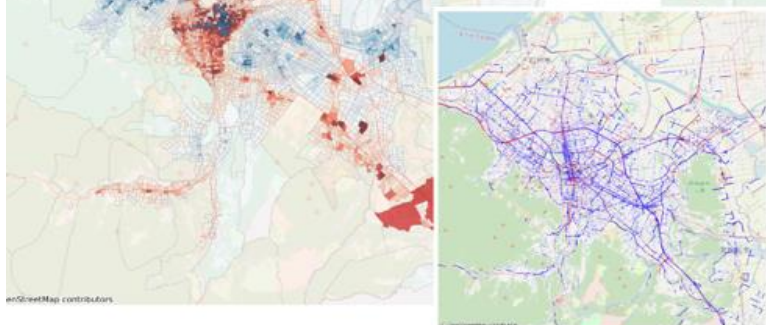
地区別の就業人口変化 (赤: 増加, 青: 減少)



地区別の居住人口変化 (赤: 増加, 青: 減少)



交通量の変化 (赤: 増加, 青: 減少)



- シミュレーションの入力に必要な地理空間データ（人口、土地利用、交通ネットワークなど）の入手・整備には、大きな労力と専門知識が求められ、分析実践の障壁となっていた
- 国土交通データプラットフォームのAPIを活用し、必要な空間データの取得・加工・統合を自動化
- 半自動化データ整備・前処理の効率化で、専門外の実務者・研究者が空間経済分析に着手しやすい環境を構築
- 事例蓄積と可視化機能強化を進め、政策評価ツールとしての社会実装を目指す

サービス名 空間経済分析の実践基盤の確立

提供・開発者 東京科学大学環境・社会理工学院、北海道大学大学院工学研究院

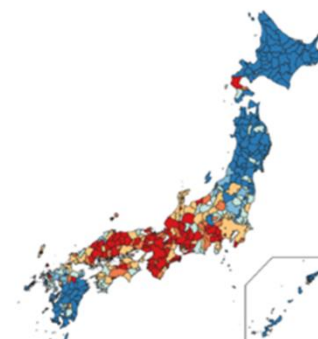
参考URL ー

※本成果は戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期課題「スマートインフラマネジメントシステムの構築」の一環で実施したものです。

活用しているデータセット

カタログ	データセット
国土数値情報	上水道関連施設, 物流拠点
道路交通センサス	令和3年度道路交通センサス

高速道路の輸送効率改善による人口変化 (赤: 増加, 青: 減少)



鉄道・航空の輸送効率改善による人口変化 (赤: 増加, 青: 減少)

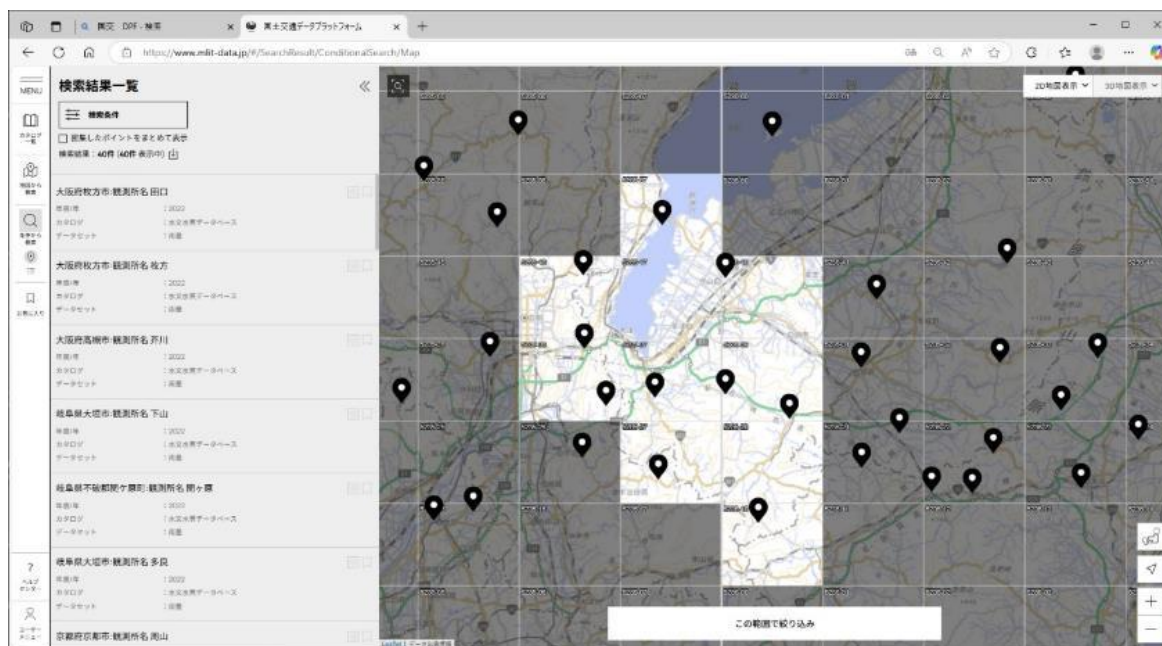


交通改善の影響評価：日本全国の分析例

参考： Sugimoto, T., Takayama, Y., and Takagi, A. (forthcoming)
A quantitative spatial model for evaluating transport-induced spatial reorganization, *Transport Policy*. Copyright © MLIT Japan. All rights reserved.

データ活用：水水DB水文データ取得ツール（株式会社ニュージェック）

- 「水水DB水文データ取得ツール」は、国土交通DPF上の水文観測所情報を取得後、水文水質データベース（水水DB）からデータをダウンロードするためのアプリ。
- 取得したい水位・雨量観測データ範囲を指定し、指定する観測所、期間のデータを国土交通DPFから一括取得することが可能。



サービス名 水水DB水文データ取得ツール

提供・開発者 株式会社ニュージェック

参考URL <https://www.newjec.co.jp/>

活用しているデータセット

カタログ	データセット
水文水質データベース	水位、雨量

水水DBから水位・雨量観測データをダウンロードするのは、観測所の位置等を確認などの手間がかかるが、本ツールを利用することで、国土交通DPFからまとめて選択し、ダウンロードすることで効率化が可能となる。

ツールをダウンロードして、誰でも利用が可能。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	時間雨量月表検索結果											
2	水系名	荒川										
3	河川名	荒川										
4	観測所名	岩瀬										
5	観測所記号	1.03E+14										
6	#											
7	#日付	1時データ	1時フラグ							24時データ	24時フラグ	
8	#フラグの意	\$:欠測	-:未登録									
9	#											
10		1時		2時		3時		4時		5時		6時
11	2005/5/1	0		0		0		0		0		0
12	2005/5/2	0		1		3		1		1		0
13	2005/5/3	0		0		0		0		0		0
14	2005/5/4	0		0		0		0		0		0
15	2005/5/5	0		0		0		0		0		0
16	2005/5/6	0		0		0		0		0		0
17	2005/5/7	0		1		1		0		0		0
18	2005/5/8	0		0		0		0		0		0
19	2005/5/9	0		0		0		0		0		0
20	2005/5/10	0		0		0		0		0		0
21	2005/5/11	0		0		0		0		0		0
22	2005/5/12	0		0		0		0		0		0
23	2005/5/13	0		0		0		0		0		0
24	2005/5/14	0		0		0		0		0		0
25	2005/5/15	0		0		0		0		0		0
26	2005/5/16	0		0		0		0		0		0
27	2005/5/17	0		0		0		0		0		0
28	2005/5/18	0		0		0		0		0		0
29	2005/5/19	0		0		0		0		0		0
30	2005/5/20	0		0		0		0		0		0
31	2005/5/21	0		0		0		0		0		0
32	2005/5/22	0		0		0		0		0		0
33	2005/5/23	0		0		0		0		0		0
34	2005/5/24	0		0		0		0		0		0
35	2005/5/25	0		0		0		0		0		0
36	2005/5/26	0		0		0		0		0		0
37	2005/5/27	0		0		0		0		0		0
38	2005/5/28	0		0		0		0		0		0
39	2005/5/29	0		0		0		0		0		0
40	2005/5/30	0		0		0		0		0		0
41	2005/5/31	0		0		0		0		0		0
42	2005/6/1	0		0		0		0		0		0
43	2005/6/2	0		0		0		0		0		0
44	2005/6/3	0		0		0		0		0		0
45	2005/6/4	0		0		0		0		0		0
46	2005/6/5	0		0		0		0		0		0
47	2005/6/6	0		0		0		0		0		0
48	2005/6/7	0		0		0		0		0		0
49	2005/6/8	0		0		0		0		0		0
50	2005/6/9	0		0		0		0		0		0
51	2005/6/10	0		0		0		0		0		0
52	2005/6/11	0		0		0		0		0		0
53	2005/6/12	0		0		0		0		0		0
54	2005/6/13	0		0		0		0		0		0
55	2005/6/14	0		0		0		0		0		0
56	2005/6/15	0		0		0		0		0		0
57	2005/6/16	0		0		0		0		0		0
58	2005/6/17	0		0		0		0		0		0
59	2005/6/18	0		0		0		0		0		0
60	2005/6/19	0		0		0		0		0		0
61	2005/6/20	0		0		0		0		0		0
62	2005/6/21	0		0		0		0		0		0
63	2005/6/22	0		0		0		0		0		0
64	2005/6/23	0		0		0		0		0		0
65	2005/6/24	0		0		0		0		0		0
66	2005/6/25	0		0		0		0		0		0
67	2005/6/26	0		0		0		0		0		0
68	2005/6/27	0		0		0		0		0		0
69	2005/6/28	0		0		0		0		0		0
70	2005/6/29	0		0		0		0		0		0
71	2005/6/30	0		0		0		0		0		0
72	2005/7/1	0		0		0		0		0		0
73	2005/7/2	0		0		0		0		0		0
74	2005/7/3	0		0		0		0		0		0
75	2005/7/4	0		0		0		0		0		0
76	2005/7/5	0		0		0		0		0		0
77	2005/7/6	0		0		0		0		0		0
78	2005/7/7	0		0		0		0		0		0
79	2005/7/8	0		0		0		0		0		0
80	2005/7/9	0		0		0		0		0		0
81	2005/7/10	0		0		0		0		0		0
82	2005/7/11	0		0		0		0		0		0
83	2005/7/12	0		0		0		0		0		0
84	2005/7/13	0		0		0		0		0		0
85	2005/7/14	0		0		0		0		0		0
86	2005/7/15	0		0		0		0		0		0
87	2005/7/16	0		0		0		0		0		0
88	2005/7/17	0		0		0		0		0		0
89	2005/7/18	0		0		0		0		0		0
90	2005/7/19	0		0		0		0		0		0
91	2005/7/20	0		0		0		0		0		0
92	2005/7/21	0		0		0		0		0		0
93	2005/7/22	0		0		0		0		0		0
94	2005/7/23	0		0		0		0		0		0
95	2005/7/24	0		0		0		0		0		0
96	2005/7/25	0		0		0		0		0		0
97	2005/7/26	0		0		0		0		0		0
98	2005/7/27	0		0		0		0		0		0
99	2005/7/28	0		0		0		0		0		0
100	2005/7/29	0		0		0		0		0		0
101	2005/7/30	0		0		0		0		0		0
102	2005/7/31	0		0		0		0		0		0
103	2005/8/1	0		0		0		0		0		0
104	2005/8/2	0		0		0		0		0		0
105	2005/8/3	0		0		0		0		0		0
106	2005/8/4	0		0		0		0		0		0
107	2005/8/5	0		0		0		0		0		0
108	2005/8/6	0		0		0		0		0		0
109	2005/8/7	0		0		0		0		0		0
110	2005/8/8	0		0		0		0		0		0
111	2005/8/9	0		0		0		0		0		0
112	2005/8/10	0		0		0		0		0		0
113	2005/8/11	0		0		0		0		0		0
114	2005/8/12	0		0		0		0		0		0
115	2005/8/13	0		0		0		0		0		0
116	2005/8/14	0		0		0		0		0		0
117	2005/8/15	0		0		0		0		0		0
118	2005/8/16	0		0		0		0		0		0
119	2005/8/17	0		0		0		0		0		0
120	2005/8/18	0		0		0		0		0		0
121	2005/8/19	0		0		0		0		0		0
122	2005/8/20	0		0		0		0		0		0
123	2005/8/21	0		0		0		0		0		0
124	2005/8/22	0		0		0		0		0		0
125	2005/8/23	0		0		0		0		0		0
126	2005/8/24	0		0		0		0		0		0
127	2005/8/25	0		0		0		0		0		0
128	2005/8/26	0		0		0		0		0		0
129	2005/8/27	0		0		0		0		0		0
130	2005/8/28	0		0		0		0		0		0
131	2005/8/29	0		0		0		0		0		0
132	2005/8/30	0		0		0		0		0		0
133	2005/8/31	0		0		0		0		0		0
134	2005/9/1	0		0		0		0		0		0
135	2005/9/2	0		0		0		0		0		0
136	2005/9/3	0		0		0		0		0		0
137	2005/9/4	0		0		0		0		0		0
138	2005/9/5	0		0		0		0		0		0
139	2005/9/6	0		0		0		0		0		0

データ活用：Visualizer～あなたのまちの橋の声、聴いてみませんか～（パシフィックコンサルタンツ株式会社）

- 老朽化が進行する橋梁インフラの維持管理に対し、橋梁の状態を「音」と「視覚」によって表現し、誰もが感覚的に橋の健全度を把握できる仕組みを提供し、住民等の専門知識を持たない人々に対し理解と関心を喚起する
- 国土交通DPFのAPIや各種オープンデータと連携し、最新の点検情報を反映し、一層の透明性向上や住民との信頼構築にも寄与。



サービス名 Visualizer

提供・開発者 パシフィックコンサルタンツ株式会社

参考URL <https://www.pacific.co.jp/>

活用しているデータセット

カタログ	データセット
全国道路施設点検データベース	橋梁

「橋梁の状態を音で表現する」ことで、直感的にわかりやすい。地域に開かれたイベントでは、子供たちが音を通じてインフラ情報を楽しく学ぶ体験となった。



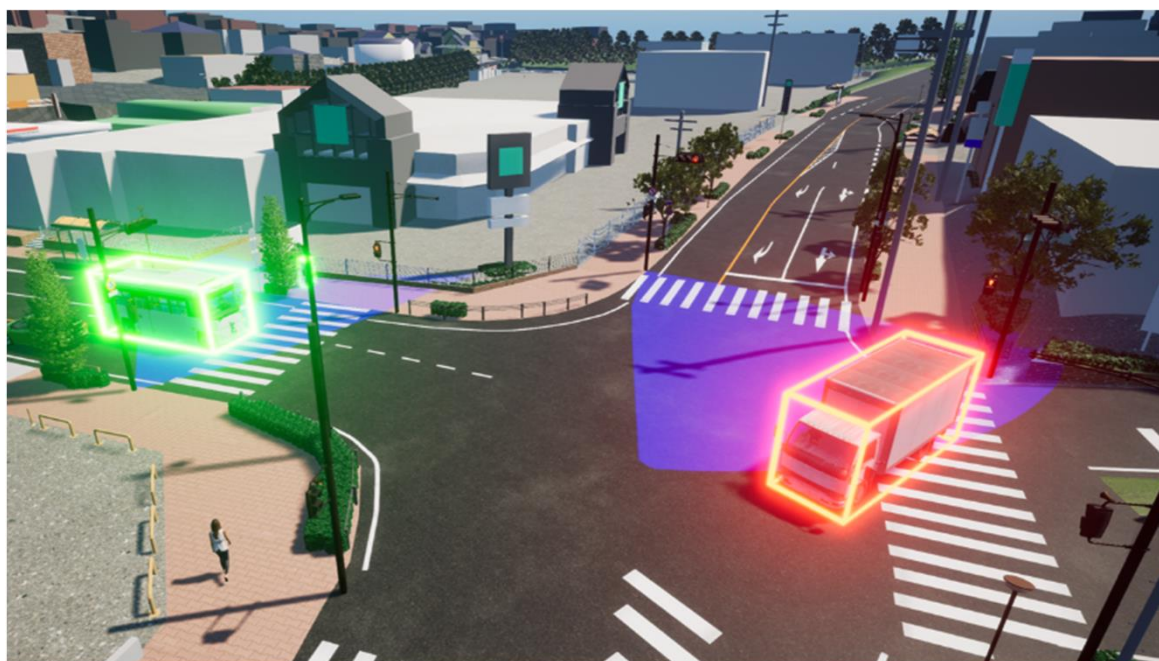
APIを活用し、全国道路施設点検データベース（道路橋）を利用。橋梁の名称や健全度、架設年度や管理者区分がリアルタイムで表示されるとともに、周辺環境のオープンデータ（国土数値情報の地価や人口密度、用途地域など）と合わせて音と視覚で表現される。



- ① 点検記録判定区分：点色の変化
- ：健全
 - ：予防保全段階
 - ：早期措置段階
 - ：緊急措置段階
- ② 橋長：長いほど音が高くなる
- ③ 架設年度：古いほど残響する

データ活用：WARXSS®（株式会社RYODEN、株式会社ヴィッツ）

WARXSS®は、PLATEAUなどのオープンデータを活用し実在の街を再現した3Dの仮想空間上で、自動運転サービスカーの走行パターンや交通状況を視覚的に再現できるシミュレーションツール。リアルな3D環境で、交差点・丁字路などにおける複雑な交通状況を再現し、住民説明や事業者との対話、関係機関内での調整など、幅広い場面での活用が期待される。



サービス名 WARXSS®

提供・開発者 株式会社RYODEN、株式会社ヴィッツ

参考URL <https://www.witz-inc.co.jp/>

活用しているデータセット

カタログ	データセット
3D都市モデル（PLATEAU）	2024年度，2023年度，2022年度，2021年度，2020年度

国土交通DPFよりPLATEAUの3D都市モデルを活用し、基礎となる地図データの購入コストや仮想空間の作成にかかる工数は従来比で約20%削減することが可能となった。

PLATEAU活用のメリット：

1. PLATEAU用インポート、変換・加工処理のみ作成のみでOK。
2. 無償で準備可能。

